

平成21年度 広域ブロック自立施策等推進調査

田園地域を事例とした生物多様性保全とコミュニティ形成調査

報告書

平成22年3月

農林水産省東海農政局

平成二十一年度 広域ブロック自立施策等推進調査

田園地域を事例とした生物多様性保全とコミュニティ形成調査報告書

平成二十二年三月 農林水産省東海農政局

平成21年度 広域ブロック自立施策等推進調査
 田園地域を事例とした生物多様性保全とコミュニティ形成調査
 報告書目次

はじめに

【要約編】

第 章 田園地域における生物多様性とコミュニティ活動の現状分析、課題抽出

	1
- 1 節 地域における実態把握と現状分析	1
- 1 - 1 情報収集	1
(1) 対象市町村の選定	1
(2) 4つの視点での情報収集	1
- 1 - 2 情報の整理・分析	1
(1) 農地及び農業水利施設を主な生息場としている生物の分布状況	1
(2) 多様な協働体の活動状況	8
(3) 生物多様性保全に係る取組状況	9
(4) 地域住民と生物多様性の関わり状況	10
- 2 節 農村振興施策の役割の整理	11
- 2 - 1 国レベルの施策及び全体的な概要	11
- 2 - 2 県レベルの特徴的な施策の展開	11
- 2 - 3 市町村レベルの特徴的な施策の展開	12
- 3 節 課題の抽出・整理	13
- 3 - 1 課題の抽出・整理にあたって指標とする全国の優良事例からの項目	13
- 3 - 2 4つの視点からの課題の抽出整理	13

第 章 多様な主体からなる田園地域の協働体による農業に関連した生物多様性の保全の
 取組状況の把握

- 1 節 協働体活動調査	15
---------------	----

- 1 - 1	200 組織程度の活動内容の整理	15
- 1 - 2	30 組織程度の活動内容の整理	15
- 2 節	農業水利施設における生物多様性確保・保全調査	15
- 3 節	生物多様性保全のための整備等対応手法の検討	15
第 章	水田等における生物多様性保全活動事例の現地調査・記録	17
- 1 節	特徴的な活動実績のある事例の調査	17
- 2 節	調査地区のテーマごとの特徴の分析	17
第 章	田園地域での生物多様性保全のあり方、保全活動を推進する協働体のあり方等に関する検討	19
- 1 節	田園地域での生物多様性保全のあり方、保全活動を推進する協働体のあり方	19
- 2 節	情報発信のあり方	19
【本編】			
第 章	田園地域における生物多様性とコミュニティ活動の現状分析、課題抽出	1
- 1 節	地域における実態把握と現状分析	1
- 1 - 1	情報収集	1
(1)	対象市町村の選定	1
(2)	4つの視点での情報収集	2
- 1 - 2	情報の整理・分析	3
(1)	農地及び農業水利施設を主な生息場としている生物の分布状況	3
(2)	多様な協働体の活動状況	42
(3)	生物多様性保全に係る取組状況	45
(4)	地域住民と生物多様性の関わり状況	48
- 2 節	農村振興施策の役割の整理	49

- 2 - 1	国レベルの施策及び全体的な概要	・・・・・・・・	4 9
- 2 - 2	県レベルの特徴的な施策の展開	・・・・・・・・	5 0
- 2 - 3	市町村レベルの特徴的な施策の展開	・・・・・・・・	5 2
- 3 節	課題の抽出・整理	・・・・・・・・	5 3
- 3 - 1	課題の抽出・整理にあたって指標とする全国の優良事例からの項目	・・・・・・・・	5 3
- 3 - 2	4つの視点からの課題の抽出整理	・・・・・・・・	5 4

第 章 多様な主体からなる田園地域の協働体による農業に関連した生物多様性の保全の
取組状況の把握

- 1 節	協働体活動調査	・・・・・・・・	5 6
- 1 - 1	200組織程度の活動内容の整理	・・・・・・・・	5 6
- 1 - 2	30組織程度の活動内容の整理	・・・・・・・・	5 6
- 2 節	農業水利施設における生物多様性確保・保全調査	・・・・・・・・	6 6
- 3 節	生物多様性保全のための整備等対応手法の検討	・・・・・・・・	8 0

第 章 水田等における生物多様性保全活動事例の現地調査・記録

- 1 節	特徴的な活動実績のある事例の調査	・・・・・・・・	8 2
- 2 節	調査地区のテーマごとの特徴の分析	・・・・・・・・	9 1

第 章 田園地域での生物多様性保全のあり方、保全活動を推進する協働体のあり方等に
関する検討

- 1 節	田園地域での生物多様性保全のあり方、保全活動を推進する協働体のあり方	・・・・・・・・	9 3
- 2 節	情報発信のあり方	・・・・・・・・	1 0 0

資料編

..... 111

生物多様性国家戦略等

食料・農業・農村白書等

環境白書

東海三県（岐阜、愛知、三重）環境基本計画等

主要関係市町の環境基本計画等

はじめに

我が国の農林水産業は、長い歴史の中で自然の循環機能を利用し、動植物を育みながら持続的に営まれてきた活動であることから、農村地域においては「農村生態系」とも呼べる多様な生物の生息・生育が保たれてきていた。しかし、近年は、農村地域の急激な都市化、農地の減少や耕作放棄の進行、住民の高齢化・混住化の進展などにより、農業や地域の保全活動を通じて生物多様性の保全を担ってきた農村コミュニティの機能が低下してきている。

このような状況を受けて、農業農村振興施策においては、平成13年の土地改良法改正による同事業の実施における「環境との調和への配慮」の原則化や、平成19年度からの農地・水・環境保全向上対策の実施による農村地域の施設や環境の保全向上のための地域ぐるみの取組みへの支援など、農村環境（生態系や景観）との共生に向けた積極的なハード・ソフトの施策が講じられている。

我が国の農村地域の生態系が農業生産の活動を基調としているという特徴を踏まえ、土地改良区など多様な主体（農村コミュニティ）の連携・協働が、農村地域の生物多様性を支え・もたらしているとの“図式”を明らかにし、広く国内外に情報発信することは、我が国農業が生物多様性と共存できるものであることをアピールする絶好の機会と考えられる。

本事業の目的

東海農政局管内の生物多様性と農村コミュニティの関係についての実態把握と課題抽出
生物多様性保全のための農村コミュニティのあり方検討

「あり方」の国内外へ発信方法・内容の検討

COP10等での情報発信に向け

- ・ 生物多様性保全への関心・意識の高揚促進
- ・ 効果的な地域活動の展開に寄与